

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | ぼてと（放課後等デイサービス） | | |
| ○保護者評価実施期間 | R7年12月1日 | | ～ R7年12月27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 65名 | (回答者数) 42名 |
| ○従業者評価実施期間 | R7年11月10日 | | ～ R7年11月17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年1月15日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 一人一人に応じた「個別支援計画」の策定とそれに基づく支援の提供。 | 半年に一度の個別支援計画策定の際、保護者の意向や評価結果から具体的に目標設定を行い支援している。 | 日々の子どもの様子や反応を職員間で共有し、支援内容が最適であるかを振り返り、子どもの変化に合わせて支援を継続していきます。 |
| 2 | 個別活動・集団活動が固定化されないように工夫しています。 | 振り返りを行い、やり方を変えた方がいい事は意見を出し合っています。集団活動では達成感を味わえるように過替わりで工夫を凝らしています。 | 子どもの発達や、興味、関心に合わせ自発的に参加したくなる環境づくりを行っていきます。 |
| 3 | 安全管理と緊急時・災害時を想定した訓練を定期的に行っている。 | 定期的な訓練を通じて「もしも」の際に確実に動けるように努めている。 | 引き続き、色々な場面を想定し、全職員で取り組んでいきます。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者同士の交流。 | イベントは行っているが保護者同士まで至らない。 | 保護者交流会に向けてアンケートを実施し検討していきます。 |
| 2 | 特定の活動における目的に関する保護者への説明不足。 | 身辺処理動作の習得として行っていたが、保護者に対し「なぜ今この支援が必要なのか」の説明が不足していた。 | お子さんの取り組みの様子と共に、課題の目的・内容を詳しく説明し、保護者の移行を改めて確認していきます。 |
| 3 | バリアフリー化ではない。個室がないオープンな構造。 | 閉園した園を再利用しているため構造上難しくなっています。 | 個室が必要な時はパーテーションを活用して工夫をしています。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぼてと（放課後等デイサービス）

公表日 令和8年 2月 3日

利用児童数 65名

回収数 42名

| | チェック項目 | 回答 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 36 | 4 | 1 | 1 | もっと広い活動場所が欲しい。 夏休みは大型プールなど子供は大喜びです。 静かに過ごせる場所があったらいいと思いま | 活動スペースを工夫しながら確保しています。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 35 | 2 | | 5 | | 法令で定められた人員である。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 29 | 5 | 3 | 5 | 階段にスロープがない。 建物が古いためバリアフリーではない。 | 今後、スロープが必要になれば対応していきます。 バリアフリーは構造上難しい。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 37 | 2 | 1 | 2 | | 床のマットが劣化していた為、新しくマットを張り替えた。また、日々の掃除も継続しています。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 40 | 2 | | | | 半年に一度作成されている「個別支援計画」で目標を立て支援を行っている。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 42 | | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 42 | | | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 41 | | | 1 | | ガイドラインに沿って、個別計画書を作成しており、面談の話の中で困りごとを確認し、目標を立て評価結果から支援内容を決めています。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 42 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 36 | 3 | | 3 | トイレ掃除以外の取り組みをしているのか？同じことを続ける事が大事なのかよくわからないから。 | トイレ掃除は身辺処理動作の課題の一つとして行っています。手順の習得で見通しを立てるなど将来の自立に繋がるよう取り組んでいます。これ以外の支援も個別支援計画書に沿って行っています。 |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 23 | 4 | 3 | 12 | | 普段の生活で交流しています。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 38 | 3 | | 1 | | 施設利用前の契約の際に説明させて頂いています。不明な点がございましたら、いつでもお声掛けください。 |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 42 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 39 | 1 | | 2 | | 社協主催の個別相談会や勉強会、行動分析の勉強会など今後も周知します。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 41 | 1 | | | いつもありがとうございます。 | ノートやラインで連絡しています。いつでもご連絡ください。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 41 | 1 | | | | ご相談がございましたらご連絡ください。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 41 | 1 | | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | 34 | 2 | 3 | 3 | イベントも楽しく参加させてもらっている。 どうしたら保護者同士の交流ができるのだろうか。 兄は利用を終了した後もフォローを頂けている。 | イベントは年中行事に設定して行っているが、イベント以外で保護者の集まりを検討します。 |
| 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 39 | 2 | | 1 | | 重要事項説明書で、トラブルがあった時の連絡先は説明しています。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|--|
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 41 | 1 | | | | 今後もノートやラインで共有します。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 41 | 1 | | | | ホームページやブログにて発信しています。ご覧くださいませ。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 41 | | | 1 | | 今後も十分留意して扱ってまいります。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 37 | 2 | 1 | 2 | | マニュアルはホームページに掲載しています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 35 | 2 | | 5 | | 実施した訓練はホームページに掲載しています。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 39 | 2 | | 1 | | 見守りカメラの設置や、送迎車両の安全装置など確保しています。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 37 | 3 | | 2 | そういう状況になってないためわかりません。 | 緊急な時は直ぐに連絡をし、小さなすり傷や打ち身などはラインやノートで連絡しています。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 40 | 1 | | 1 | | 子ども達が安心して通えるように心がけていきます。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 34 | 7 | | 1 | 毎回楽しそうにしています。ぼてとも大好きで先生方も大好きで楽しく通っています。学校での疲れが残っている時はしんどい時もあるようです。 | 子どもの気持ちや体調に合わせてプログラムを提供していきます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 41 | | | 1 | 子どものことを理解し考えて支援して下さるのが伝わる。宿題をぼてとで頑張ってくれるとありがたい。 | 今まで以上に支援の質・向上に努めます。宿題はお子様と相談しながら進めていきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | |
|-----------------|---|------------|-----|--|----------------|
| ぼてと(放課後等デイサービス) | | 令和8年 2月 3日 | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | | バリアフリーは構造上難しい。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | | | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 3 | 個室が必要な時は事務所を使用している。観光協会も利用できる。 | 個室の部屋がない。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | | 職員会議で出た目標は、次月の会議前に前回の振り返りを行う。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | 令和8年1月に実施し、結果を業務改善につなげる。 | 今年度、外部評価はなかった。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | | |
| 適切な支援の提 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | 評価をとって計画書を作成しています。 | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | 面談時は子供の支援に関わる職員が同席している。 | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | 子どもの取り組みを見て現状のプログラムで合っているかの話し合いの場を設けている。 | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|-----------------------------------|-----------------------|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 1 | 朝礼、午後の打ち合わせで事前に確認している。 | 不明な点は、意見を出すようにする。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 2 | 送迎後に時間を設けて振り返りを行っている。 | その日に必ず振り返りが出来ていない。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 6 | 1 | 一度ピーチクレーンを行ったが地域交流は少なかった。内容を検討する。 | 地域交流が出来ていない。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | 選択が必要な児童には自己選択させている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 5 | 2 | | 今のところはないが必要になった場合は行う。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | 1 | 必要な時は相談できる体制が整っている。 | 児童発達支援センターが身近にない。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 4 | | 普段の生活で交流がある。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 7 | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | |

| | | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|--|-----------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 7 | | | | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 5 | 2 | | | 今年は民生員の訪問がなかった。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 7 | | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | | | | |